ふるさと再発見！ 太地町

「太地町」散策

黒潮の恵みと、
造形美豊かなリアス式海岸、
４００年の歴史を誇る
古式捕鯨発祥の地である太地町。
太地町役場の美代取久典さんと
桝田将樹さんに案内してもらいました。

JR太地駅からバスで約5分くじら館バス停下車

❶太地くじら浜公園

世界有数のスケールを誇る「くじらの博物館」を中心に、「捕鯨船資料館」や古式捕鯨の勇猛さを表現する「羽刺しの像」などがあります。

❷工房つじ

個人で収集された鯨に関するたくさんの資料が展示されています。1階では、手作りの木型骨美鯨の民芸品もあります。

❸和田の岩門

風化作用でできた洞窟で、近世では、古式捕鯨の組といわれる和田家の屋敷の通用口として使用されていました。

❹「あわい」の家並み（大東地区・小東地区）

方言で路地のことを「あわい」と言い、これを挟んで向かいあう家々は、淡い黄色や淡い黄緑などカラフルな色で塗られ、異国情緒漂う風景が見られます。

❺燈明崎

日本で初めて鯨油を用いた行灯式燈明台があったことからその名がつきました。
古式捕鯨の時代に、「山見」と呼ばれる監視役が鯨を発見すると、狼煙を焚いて合図を送った場所です。
この地の他に、梶取崎と高塚にも狼煙場跡が残っています。

❻梶取崎

地名は、熊野灘を航行する船舶がこの岬を目標に舵を取ることからついたとされています。
鯨の風見鶏が付いた灯台と、樹齢350年余と推定される夫婦イブキが出迎えてくれます。

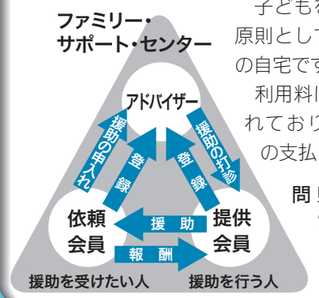
みんなの広場

県政Q&A

Q 「仕事が長引いて、子どもを迎えに行けない…」「用事があるけれど、子どもをつれて行きにくい」こんな時どうしたらよいでしょうか。

A 一時的にお子さんを預かってほしい方に子育て援助ができる方を紹介するファミリー・サポート・センターを活用してください。

和歌山市、海南市、橋本市、田辺市にあり、利用するにはあらかじめ会員登録が必要です。（居住要件など有）



子どもを預かる場所は、原則として援助を行う人の自宅です。

利用料は各市で決められており、当事者間での支払いとなります。

問 県庁労働企画課
☎073-441-2793

知っ得情報

「家族のふれあい優待制度」をご存知ですか。

子育て家庭を地域社会全体で応援するため、協賛店舗の協力により、優待券を提示することで、料金割引や各種特典などのサービスが受けられる制度を実施しています。

原則中学生以下の子育て家庭が対象で、店頭にシンボルマーク入りステッカーの掲示のある店舗が目印です。優待券付パンフレットは、下記問い合わせ先、振興局保健福祉課、市町村役場にあります。

※協賛店舗は、随時募集しています。

問 県庁子ども未来課・青少年課
県青少年育成協会
☎073-435-5236
FAX073-435-5238

協賛店舗や優待券、サービス内容等は、ホームページにも掲載しています。
http://www.cypress.ne.jp/wakatsu/fureai/index.html

県政ポスト お聴かせください！あなたのご意見

個人のプライバシーは保護されていますので、他に流用したり、公表したりすることはありません。
ただし、ご意見・ご提言の内容を匿名により、性別・お住いの地域名を記載して、県のホームページや広報紙「県民の友」などに掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

- 郵便(手紙、ハガキ)
〒640-8585(県庁専用郵便番号、県庁の住所記入不要)
県庁広報室「県政ポスト」係
- FAX073-441-2020　県庁広報室「県政ポスト」係
- Eメール(インターネット)
http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/mail/

問 県庁広報室 ☎073-441-2034

『読者のお便り』募ります
編集部では、県民の友に関係すること、住んでいる町の自慢、普段の生活で気づいたこと、心温まるエピソードなど募集します。